

米国環境保護庁
ワシントン, D.C.20460

大気放射局

2014年6月2日

ENERGY STAR® テレビジョン受信機関係者もしくはその他の関係社各位

米国環境保護庁(EPA)は以下のENERGY STAR テレビジョン受信機に関する仕様書バージョン7.0の草稿に関する意見を歓迎する。この文書は、提案された変更事項を要約しそれに促した変更内容を理論的解釈によって概略化したものである。EPAはバージョン7.0の施行を2015年夏後期に予定している。

今日までにおよ3億台のENERGY STAR対応型テレビジョン受信機が購入され、それにより22億ドルもの電力消費コストと1億トンもの温室ガス放出削減を実現してきた。その中でもテレビ受信機は、製造業者が可能にした商品特性と機能性によって成し得たENERGY STARプログラムにおける成功事例製品の最たるものの1つであり、それと同時に革新的な消費電力削減を第一に実現可能にした。バージョン6.0の最終草稿が2012年にまとめられて以来、数多くのENERGY STAR適合モデルが市場を占める機種モデルになるまで成長したことで、EPAはこの春継続的に発売の2014年新モデルでENERGY STAR対応機種のさらなる製品流通の拡大を予測している。2013年初期段階の推移によると、高い市場シェアを占める製品群は既存のENERGY STARの仕様基準を満たしている。これらのことから、ENERGY STARプログラムが他の高性能モデル製品の市場の中でも一線を画していることを如実に証明し、ENERGY STARのラベルは消費者にとっても効果的なものであることを確証的に裏付けている。

提案のあった新たなパフォーマンスレベルの確立において、EPAは製造業者から提供された未認可モデルに加え900台（そのうちの大多数は2013年までに発売されたもの）のENERGY STARテレビジョン受信機に関するデータを分析した。情報として匿名データセットを別途添付している。

草稿バージョン7.0の仕様は以下の主要項目を含む。

- **オンモード要件:** 要求仕様は、既存のEPAデータセット内におけるテレビジョン受信機の最上位14%の性能を反映したものである。EPAは本データセットは現在の市場におけるほとんどのモデルに反映しており、要求レベルはあらゆる製造業者の様々な異なるサイズにも適応できるとみている。EPAは今後発売される2015年前期モデルにも搭載されるとされるこの仕様が有効になる2015年までに認証モデルのラインナップはさらに拡充されると推測している。
- **UHD(超高精細)テレビジョン受信機:** EPAは市場におけるUHD TVの普及が増加傾向にあり、これらのテレビジョン受信機の電力消費率はHD(高精細)TVのそれ以上に高いものであると認識している。したがって、EPAは最高性能のUHDモデルのみを対象とし、消費電力効率化の奨励に努める。現時点から草稿2の発行の間の期間において入手した追加データに基づき、EPAはUHDの解像度の取り扱いについて検討することとする。
- **動的待機(スタンバイアクティブ)低モードにおけるネットワークの機能性:** EPAは動的待機低モード時のネットワークとウェイク・オン・ラン(Wake-On-LAN)機能を反映したフルネットワーク接続の

定義を導入している。新規モデルの大半はネットワーク機能の付いたものであることから、EPAはネットワーク接続の効率的な構築を実現すべく施策している。そしてまた、EPAは関係各位に意見とネットワーク接続の電力接続の電力送伝費用のデータを求めている。動的待機(スタンバイ-アクティブ)低モードにおける製品の電力性能比較を的確に行うため、米国エネルギー省(DOE)はセクション4.2において、テレビ受信機がネットワークを保持し、フルネットワーク接続の定義に則しているかの確認をする意味での追加試験を提案する。

- 静的待機(スタンバイ-パッシブ)モードおよび動的待機(スタンバイ-アクティブ)低モード**
要件: EPAは、既存のENERGY STAR認証モデルの多くが制限基準に見合っていることからネットワーク接続の無い静的待機(スタンバイ-パッシブ)モードおよび動的待機(スタンバイ-アクティブ)低モードの電力制限値を新たに0.5ワット(W)とすることを提案する。またEPAは、製品のフルネットワーク接続の可能な動的待機(スタンバイ-アクティブ)低モードにおける電力制限を1ワット(W)とする。この制限値は、最新のネットワークテクノロジーを利用する上で必要とする出力バジェット(power budgets)に関する既存情報に基づいた値である。さらに、EPAは静的待機(スタンバイ-パッシブ)モードおよび動的待機(スタンバイ-アクティブ)低モードに関する画面上の情報提示要件について検討しており、設定については消費者が不連続時間の設定のメニュー選択により変更し、消費電力の削減を可能にする。
- 定義における調和化、削除および追加:** EPAはDOEの最終規定の定義するテレビジョン受信機の試験方法に適合した内容とするよう定義を調和化し、古い適合に値しない定義を削除した上で、あらたな製品特徴である、セットトップボックスの置き換えを可能にする機能、フルネットワーク接続、そしてUHD(超高精細)といったシンクライアントの特性である新たな定義を提案する。
- 統合したセットトップボックスの機能性:** EPAはパートナーに対し、ENERGY STAR適合製品リストにおける統合化されたセットボックス機能を考慮に入れたシンクライアントやもしくはポイント・オブ・デプロイメントモジュールの特性(これらの製品特性は、消費者にとって魅力的なものであり、またセットボックスの電力消費を削減することで家庭でのエネルギー消費効率化し、総合的にも肯定的なことである。)を生かすべくスキル提供する方針である。

関係各位は2014年6月30日までに、草稿1仕様書とUHD(超高精細) テレビジョン受信機のパフォーマンスおよび動的待機(スタンバイ-アクティブ)低モード時に関するデータについて意見を提出すること。コメントはEmailにて送付のこと。送付先は、televisions@energystar.gov。寄せられたすべてのコメントは、送付者からの守秘要請がない限りENERGY STAR商品開発ウェブサイトにて投稿予定。

2014年6月17日午後1時から午後4時(東部標準時) EPAは関係各位に対してオンラインセミナーを開催する。このセミナーでは草稿1バージョン7.0 ENERGY STAR 仕様書および現時点までのデータ解析に関する詳細説明と同様に、草稿1に関する関係各者からの質問や懸念事項について提議する。本オンラインセミナーの参加希望者は本リンクにて事前登録のこと。EPAと産業界の関係者との情報交換は、ENERGY STARプログラムの成功にとり不可欠である。ENERGY STAR製品仕様の変更に関する進捗と意見については、ウェブサイトwww.energystar.gov/RevisedSpecsにて、“Televisions.”の“Version 7.0 is in development”をクリックし参照のこと。

この仕様書草稿をご参照頂いたことに感謝する。すべての質問は、EPAのVerena Radulovic (Radulovic.Verena@epa.gov又は (202) 343-9845)に直接連絡のこと。ENERGY STAR製品の試験方法に関する質問は、Jeremy Dommu (Jeremy.Dommu@ee.doe.gov 又は (202) 586-9870)まで直接連絡のこと。

Best Regards,
Verena Radulovic
ENERGY STAR for Consumer Electronics

別添資料:

バージョン7.0 ENERGY STAR TV 適合基準 第1草案

匿名データセット(第1草案エネルギー消費効率要件およびオンモード電力要件に掲載のチャートを調査する上で使用)